

老部川内水面漁業協同組合内共第30号第五種共同漁業権遊漁規則

(目的)

第1条 この規則は、老部川内水面漁業協同組合（以下「組合」という。）の有する内共第30号第五種共同漁業権に係る漁場（以下単に「漁場」という。）区域において、組合員以外の者のする当該漁業権の対象となっている水産動植物（あゆ、やまめ、いわな及びうぐいをいう。以下同じ。）の採捕（以下「遊漁」という。）についての制限に関し、必要な事項を定めるものとする。

(遊漁の承認及び遊漁料の納付義務)

- 第2条 漁場区域内において遊漁をしようとする者は、あらかじめ、組合に申請しその承認を受けなければならない。
- 2 前項の規定による申請は、口頭でしなければならない。
  - 3 組合は、第1項の規定による申請があったときは、第12条に規定する場合を除き第1項の承認をするものとする。
  - 4 遊漁者（第1項の承認を受けた者をいう。以下同じ。）は、直ちに、第7条第1項の遊漁料を同条第2項の方法により組合に納付しなければならない。

(漁具・漁法の制限)

第3条 遊漁における漁具・漁法は、手釣及び竿釣に限り、かつ、まき餌を使用してはならない。

(遊漁期間)

第4条 次の表の左欄に掲げる魚種を対象とする遊漁は、それぞれ右欄に掲げる期間内で行わなければならない。

魚 種	期 間
あゆ	7月1日から9月30日まで
やまめ いわな うぐい	4月1日から9月30日まで

- 2 遊漁の時間は、日の出から日没までとする。

(禁止区域)

第5条 前条第1項の規定による期間内であっても、次の表の左欄に掲げる区域内においては、それぞれ右欄に掲げる期間中は、遊漁をしてはならない。

区 域	期 間
むつ東通線滝の沢橋上流端より上流 270m（堰堤）までの区域	4月1日から9月30日まで

国道338号新小老部橋上流端より 河口までの区域	1月1日から12月31日まで
-----------------------------	----------------

(全長制限)

第6条 次の表の左欄に掲げる魚種は、それぞれ右欄に掲げる全長以下のものを採捕してはならない。

魚種	全長
やまめ	15cm
いわな	15cm
うぐい	10cm

(遊漁料の額及び納付方法)

第7条 遊漁料の額は、次の表のとおりとする。ただし、遊漁者が未就学の幼児のときは無料、小中学校生徒又は肢体不自由者のときは次の表に掲げる額の二分の一に相当する額とし、次項ただし書に規定する方法により納付するときは、20円を加算した額とする。

魚種	漁具・漁法	遊漁料
あゆ	手釣・竿釣	1日 400円 1年 1,500円
やまめ	手釣・竿釣	
いわな	手釣・竿釣	
うぐい	手釣・竿釣	

2 遊漁料は、次に掲げる場所において納付しなければならない。ただし、当該遊漁をする場所において漁場監視員に納付することができる。

- (1) 老部川内水面漁業協同組合（下北郡東通村大字白糠字老部 59-2）
- (2) ファミリーマート東通店（下北郡東通村大字白糠字垣間 20-4）
- (3) 小川商店（下北郡東通村大字白糠字前田 9-9）

(遊漁承認証に関する事項)

第8条 組合は第2条第1項の承認をしたときは、次に掲げる事項を記載した遊漁承認証を遊漁者に交付するものとする。

- (1) 承認を受けた者の氏名、住所
- (2) 承認期間
- (3) 魚種
- (4) 漁具・漁法
- (5) 遊漁区域
- (6) 遊漁料の額
- (7) 注意事項
- (8) その他参考となるべき事項

(9) 発行者名

- 2 遊漁承認証の交付は、前条第2項に規定する場所又は漁場監視員において行うものとする。
- 3 遊漁承認証は、他人に貸与してはならない。

(県内共通遊漁の承認証等に関する事項)

第9条 この漁場区域内において、青森県内水面漁業協同組合連合会（以下「漁連」という。）が発行する県内共通遊漁承認証を使用して遊漁をしようとする者は、第2条、第7条及び第8条の規定にかかわらず、次表の遊漁料を納付しなければならない。

遊漁承認証別	水産動植物	漁具・漁法	遊漁料（1年）
全魚種	あゆ、やまめ、いわな、にじます、ひめます（鳶沼のみ）、うぐい、こい、ふな、うなぎ	手釣・竿釣	15,000円
溪流魚	やまめ、いわな、にじます、ひめます（鳶沼のみ）、うぐい、こい、ふな、うなぎ	手釣・竿釣	8,000円

- 2 前項の遊漁料の納付及び遊漁承認証の交付は、次の場所又は漁連が指定するオンラインシステムにおいて行うものとする。  
青森県内水面漁業協同組合連合会
- 3 前項の遊漁承認証に記載する事項は、前条第1項に準ずるものとする。
- 4 遊漁に際しては、当該遊漁承認証を所持しなければならない。
- 5 第1項の規定にかかわらず、前項の規定に違反した者については、第7条第1項に規定する遊漁料を徴収する。

(遊漁に際し守るべき事項)

- 第10条 遊漁者は、遊漁をする場合には、遊漁承認証を携帯し、漁場監視員の要求があったときは、これを提示しなければならない。
- 2 遊漁者は、遊漁に際しては、漁場監視員の指示に従わなければならない。
  - 3 遊漁者は、遊漁に際しては、相互に適当な距離を保ち、漁業者及び他の遊漁者の迷惑となる行為をしてはならない。
  - 4 遊漁者は、産卵場として組合が指定する区域内において、川底をかくはんしてはならない。
  - 5 ブラックバス及びブルーギルが採捕された場合は、再放流してはならない。
  - 6 遊漁者は、組合が漁業法（昭和24年法律第267号）に基づく報告等のために行う採捕量の調査等に協力するものとする。

(漁場監視員)

第 11 条 漁場監視員は、遊漁者に対し、この規則の遵守に関して必要な指示を行うことができる。

2 漁場監視員は、次に掲げる事項を記載した漁場監視員証を携帯し、かつ、漁場監視員であることを表示する腕章をつけるものとする。

- (1) 氏名
- (2) 有効期限
- (3) 注意事項
- (4) その他必要な事項
- (5) 発行者名

(違反者に対する措置)

第 12 条 組合は、遊漁者がこの規則に違反したときは、直ちに遊漁の中止を命じ、以後のその者の遊漁を拒否することができる。この場合、遊漁者が既に納付した遊漁料の払戻しは、行わないものとする。